

年収の壁対策として

労働者1人につき**最大50万円**助成します！

キャリアアップ助成金

労働者にとって、

- ・「年収の壁」を意識せず働くことができる。
- ・社会保険に加入することで処遇改善につながる。

事業主の皆様の
人手不足の解消へ！出典：政府広報オンライン (https://www.gov-online.go.jp/media_relations/commercials/202312/video-270966.html)2023（令和5）年10月から、キャリアアップ助成金に
「社会保険適用時処遇改善コース」を新設しました！

○労働者を新たに社会保険に加入させるとともに、収入を増加させる取組を行った事業主に助成

(1) 手当等支給メニュー

要件	1人当たり 助成額
① 賃金の 15%以上を追加支給 (社会保険適用促進手当など)	1年目 20万円(※)
② 賃金の 15%以上を追加支給 (社会保険適用促進手当など) 3年目以降、③の取組	2年目 20万円(※)
③ 賃金の 18%以上を増額	3年目 10万円

(注)1,2年目は取組から6ヶ月ごとに支給申請（1回あたり10万円支給）

◆社会保険適用促進手当

事業主が社会保険適用に伴い手取り収入を減らさないよう
手当を支給した場合は、**本人負担分の保険料相当額を上限として
社会保険料の算定対象としません。**※ 本助成金については、**2023（令和5）年10月1日から2026（令和8）年3月31日までの間に新たに社会保険の
加入要件を満たし、適用されることとなった労働者が対象になります。**

(2) 労働時間延長メニュー

週所定労働時間の 延長	賃金の 増額	1人当たり 助成額
4時間以上	—	30万円
3時間以上 4時間未満	5%以上	
2時間以上 3時間未満	10%以上	
1時間以上 2時間未満	15%以上	

※ 助成額は中小企業の場合。大企業の場合は3/4の額。

※ (2) 4時間未満の延長の場合は、併せて基本給の増額が必要。

※ 1年目に(1)①の取組による助成(20万円)を受けた後、
2年目に(2)の取組による助成(30万円)を受けることも可
能（併用メニュー）。(上述の組み合わせの場合に限り、同一の対象者についてメニューをまたいだ
助成を受けることができます。)

キャリアアップ計画書を事前に提出しましょう！

※ **キャリアアップ計画書を作成し、取組を開始する日の前日までに、管轄労働局まで
提出してください。**（不備があると当日の受理ができませんので、余裕を持ってご準備ください。）労働時間延長
メニュー

併用メニュー

手当等支給
メニューキャリアアップ
計画書の提出賃上げ、労働時間
延長の取組

手当等の支給

手当等の支給

賃上げ、労働時間
延長の取組

1年

1年6ヶ月

賃上げ等、労働時間
延長あるいはその両
方による増額

2年

2年6ヶ月

手当等の支給

手当等の支給

手当等の支給

手当等の支給

基本給（総支給額）
の増額取組開始
(社会保険の適用)支給申請
(1回目)支給申請
(2回目)支給申請
(3回目)支給申請
(4回目)支給申請
(5回目)

対象となる労働者をチェックしましょう！

雇用している短時間労働者の中に、2023（令和5）年10月以降、新たに社会保険の被保険者の要件※¹を満たす方はいますか。

はい

いいえ

その労働者は、以下の①、②の両方に該当する方ですか。

- ① 社会保険加入日の6か月前の日以前から継続して雇用されている。
- ② 社会保険加入日から過去2年以内に同事業所で社会保険に加入していなかった。

はい

いいえ

その労働者は、社会保険加入日から2か月以内に、週所定労働時間を一定時間延長すること※²ができますか。

はい

いいえ

その労働者の社会保険加入日から最長2年間の手当※³等の支給後の働き方について、労使で話し合いを行う予定ですか。

はい

いいえ

その労働者は、社会保険加入日から1年が経過した時点で、労働時間の延長ができる見込みですか。

はい

いいえ

(2)労働時間延長
メニュー

(1)(2)の
併用メニュー

(1)手当等支給
メニュー

社会保険適用に関する支給要件には該当しません。
本助成金の他のコースの活用をご検討ください。

※¹ 厚生年金保険の被保険者数が常時101人以上である事業所の場合は、週の所定労働時間が20時間以上かつ所定内賃金が月額8.8万円以上で学生ではないこと。100人以下の事業所の場合は、週の所定労働時間及び月の所定労働日数が常時雇用のフルタイム従業員の4分の3以上である者であること。

※² 週所定労働時間を4時間以上延長、または3時間以上延長するとともに基本給を5%増額改定する等の措置。詳しくは、表面の「(2)労働時間延長メニュー」をご覧ください。

※³ 社会保険適用促進手当（標準報酬月額が10.4万円以下の者に対して、事業主が支給する場合、最長2年間、社会保険の標準報酬月額・標準賞与額の算定対象に含めない取り扱いとする手当）

○ キャリアアップ助成金の申請方法や助成額などの詳細については、都道府県労働局または管轄のハローワークまでお問合せください。

○ 各都道府県の働き方改革推進支援センターでも助成金に関する相談を受け付けています。
最寄りのセンターの連絡先は

○ 「年収の壁突破・総合相談窓口」（コールセンター）にもご相談いただけます。

年収の壁突破・総合相談窓口（フリーダイヤル・無料）

0120-030-045

受付時間 平日 8:30~18:15

（土日・祝日・年末年始（12/30～1/2）はご利用いただけません。）

厚生労働省公式HP



① 労働時間延長メニュー 活用モデル

会社概要

本社：静岡県
従業員数：100人（中小企業）（※）
（パート従業員40人）
事業内容：食品製造販売業
課題：「106万円の壁」を意識して就業調整をするパート従業員が増えており、人手の確保が最優先事項。

※社会保険の任意特定適用申請をしているケース。

- ・ 企業としては、従業員の就業調整、離職を防ぎ、なんとしても人材を確保したい。
- ・ 労働時間を延ばして働ける人には働いてほしい。また、既に社会保険に加入している、昔からのパート労働者が不公平感を感じないようにしたい。
- ・ 毎年4月の賃上げのタイミングで何かできないか。

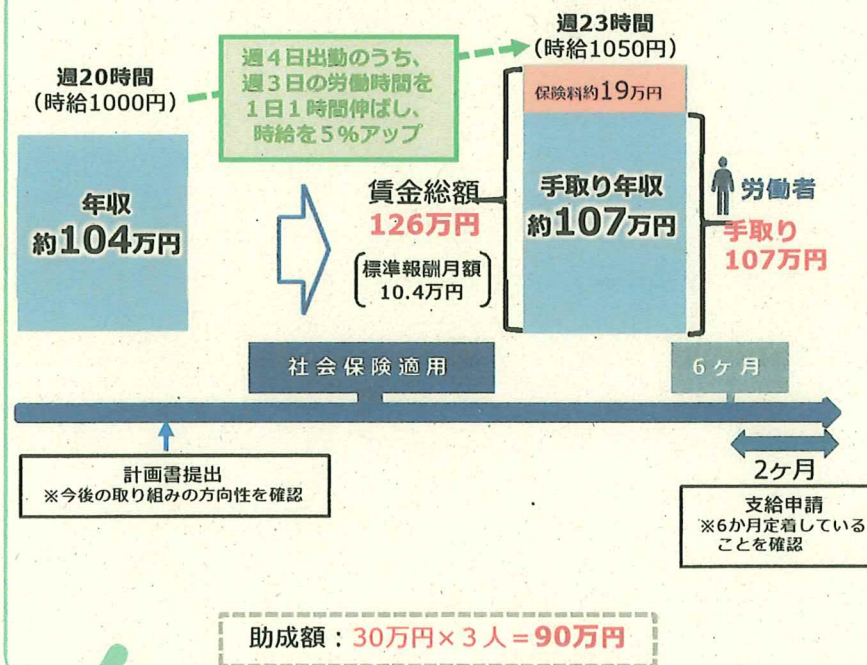


取り組み内容

- ・ 新たに社会保険に加入する場合
労働時間を延長できるパート従業員 **3人** ▶ 3時間延長 + 5%賃上げ ▶ **労働時間延長メニュー**
労働時間の延長が難しいパート従業員 **5人** ▶ 5%賃上げ } ▶ **賃金規定等改定コース**
 - ・ 既に社会保険に加入しているパート従業員 **32人** ▶ 5%賃上げ
- ⇒パート従業員全員の時給を、1,000円から**1,050円**に5%UP

キャリアアップ助成金の別のコースを活用

労働時間延長メニュー



賃金規定等改定コース

パート労働者等の基本給の賃金規定等を3%以上増額改定し、その規定を適用させた場合に助成。

【労働者1人当たりの助成額】

	賃金の増額割合	
	3%以上 5%未満	5%以上
中小企業	5万円	6万5,000円
大企業	3万3,000円	4万3,000円

本モデルケースの場合、パート従業員全員の時給が5%UP

助成額：6万5000円×37人=240万5,000円

全パート従業員への処遇改善の取組で、助成額合計 **330万5,000円**

期待される効果

3時間延長できると答えた従業員は少なかったものの、賃上げの結果、昔から社会保険に加入していたパート従業員から感謝された。
また、全従業員に対して5%の賃上げをしたため、口コミでパート従業員への応募者が増えた。